

元ハンセン病患者の戦後70年をたどる

27日(日)



「有事になれば国は弱者から切り捨てていく」。89歳の藤田三四郎さん=写真=は特攻隊員とともに飛び立つ四式戦闘機の整備兵でした。ハンセン病と診断されたのは1945年春。罹患を理由に除隊を命じられ、「非国民」呼ばわりされて強制収容されました。以来70年間を群馬県草津町の国立療養所「栗生楽泉園」で暮らしてきました。親族を社会の偏見の目から守るため、今も実名を伏せています。「命があるうちに、人生をたどってみたい」。そんな願いをかなえようと、故郷に帰る藤田さんの旅に記者が同行しました。折しも、日本の安全保障政策を転換する安保関連法が成立した今年。戦後70年の節目が終わろうとする師走に、藤田さんの歩んだ70年をたどります。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

暮れゆく戦後70年に考える

「平和」って何？

夕刊2面特集ワイド 28日(月)



今年5月に亡くなった詩人、長田弘さんの詩「猫のボブ」に、こんな一節があります。「猫のボブが言った。平和って何？ きれいな水？ 皿？ 静けさ？」。戦後70年の大きな節目となった今年、集団的自衛権の行使容認など日本の安全保障政策を大きく転換することになる安全保障関連法が成立し、「平和」を巡ってさまざまな議論が展開されましたが、平和って何なのでしょう。猫のボブの問いへの答えを探して、暮れゆく戦後70年の街を歩きました。

「女の気持ちをたずねて」

おんなのしんぶん 28日(月)

「くらしナビ」面で連載している「女の気持ち」に投稿した読者を訪ね、その後の様子などを描く人気コーナー。今回は、横浜市泉区の小川麻梨子さん(36)を、東京社会部の林田七恵記者が訪ねました。

次女の由衣ちゃん(4)のアレルギーに悩んでいた小川さん。2年前の夏には、週に1回通院し、口に入れるものも手探りの状況だったといいます。今は、徐々に食べられる物が増え、由衣ちゃんも明るい表情に。その喜びを語っています。



住・壁紙の貼り替えに挑戦

くらしナビ面 29日(火)



部屋全体の模様替えは大変ですが、壁紙を貼り替えれば部屋の印象はがらりと変わります。壁の一面分だけを貼り替えて他と差異をつける「アクセントクロス」だと、初心者でも挑戦しやすいです。また、2種類の壁紙を上下に貼ってつなぎ目に装飾材をつければより本格的に。簡単に貼ってはがせる壁紙用のりを使って、壁を自由に模様替えしてみましよう。

平均的な世帯構成人数は少しずつ減り、単身者が増える傾向は今後も続くといわれています。一人暮らしはもう珍しくなく、性別を問わず、年齢も幅広くなり、これまで家族が担ってきた機能・役割を、別のモノ・サービスが肩代わりすることになります。一人暮らしの人、また、一人暮らしを望む人たちの生活を通して、いまの「家族とは何か」を探ります。



広がれ羽毛リサイクル

くらしナビ面 31 日 (木)

温度、湿度の調節機能に優れた羽毛製品は、安いものも出回って、より身近になる反面、原料の羽毛は不足がみださうです。そこで、羽毛を洗浄、再生させて新しい製品にリサイクルする動きが広がっています。三重県にある羽毛の加工メーカーの社長は「本来、羽毛はとても丈夫な素材。私たちの技術で10~20年に1度洗えば100年使えます」と話しています。

全国高校ラグビーフットボール大会開催

27 日 (日) ~ 1 月 11 日 (月・祝)

高校ラグビー日本一の座を決める「第95回全国高校ラグビーフットボール大会」(毎日新聞社、日本ラグビーフットボール協会など主催)は27日、東大阪市花園ラグビー場で開幕します。全国の予選を勝ち抜いた51校と記念大会枠の地区代表4校、計55校が出場。連覇を狙う東福岡(福岡)と、全国選抜大会、全国7人制大会との3冠が懸かる東海大仰星(大阪第1)優勝争いの軸となりそうです。この2校を追うのは常翔学園(大阪第3)、大阪桐蔭(大阪第2)、桐蔭学園(神奈川)など。しかし実力差は小さく、どのチームにも優勝のチャンスがありそうです。準決勝は1月7日、決勝は同11日。ワールドカップでの日本代表の躍進で盛り上がったラグビー。将来の日本代表ラグビーの活躍に注目してください。



ニューイヤー駅伝2016 in ぐんま開催

元日(金) 午前9時15分スタート



実力日本一の駅伝チームを決める「ニューイヤー駅伝2016 in ぐんま 第60回全日本実業団対抗駅伝競走大会」(日本実業団陸上競技連合主催、毎日新聞社など共催)が元日午前9時15分にスタートします。コースは群馬県庁前をスタート・ゴールとする7区間100キロ。出場チームは全国6地区の予選を勝ち抜いた43チームです。連覇を狙うトヨタ自動車は宮脇千博選手、窪田忍選手ら主力が充実。最多優勝を誇る旭化成は村山謙太選手、紘太選手の双子ルーキーを擁して王座奪還を目指します。Hondaの設楽悠太選手、コニカミノルタの宇賀地強選手、日清食品グループの佐藤悠基選手らエースの走りにも注目してください。新年の風物詩・ニューイヤー駅伝も毎日新聞でお楽しみください。

「Tokiko's Kiss」 おんなのしんぶん 1月4日(月)

月1回掲載の加藤登紀子さんの対談コーナー。今回のゲストは、漫画家の松本零士さん=写真=です。

松本さんは、「宇宙戦艦ヤマト」や「銀河鉄道999」、「男おいどん」などさまざまな名作を生み出してきました。その背景にある世界観や「青い地球」にこだわる理由などをたつぷりと伺いました。東京都内にある松本さんの事務所で撮影した写真も見です。



疲れた胃腸に丸ごと白菜

くらしナビ面 1月5日(火)



年末年始は食べ過ぎ、飲み過ぎで胃腸が疲れ気味になる人も少なくないと思います。何となく気持ちもが緩み、風邪を引きやすくなります。こうした時期に、消化のいい野菜や魚をたっぷり入れた鍋を囲むと、心も体も温まります。ビタミン、ミネラルがバランスよく含まれ、免疫力を高めてくれる白菜を、捨てることなく全部使い切る「白菜丸ごと鍋」の作り方を紹介します。

赤い巨竜 歴史的な大転換へ

中国の大家を直撃！「一人っ子政策」を廃止するワケ

オピニオン面 [そこが聞きたい] 1月6日(水)

「赤い巨竜」の歴史的な政策転換が始まります。中国共産党は36年続いた「一人っ子政策」の廃止を宣言したのです。人口抑制を目的に、国家が強権で出産制限に乗り出す「国策」は、前近代的と批判される一方で、経済発展の礎となりました。しかし、近年はその劇薬効果の副作用が社会の足かせになっていたといいます。中国の人口政策に関わってきた専門家にその「なぜ」を迫りました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

新年連載「大予測2016」

どんな1年になるのか？ 専門家対談で大胆に占う

夕刊2面特集ワイド 1月4日(月)～8日(金)



戦後70年の2015年は、安全保障関連法の成立や海外で相次いだテロなど激動の1年でした。それに続く2016年はどんな年になるのでしょうか。夏の参院選は与野党どちらが勝つのか、安倍晋三首相＝写真＝は憲法改正へ動き出すのか、アベノミクスは成功するのか、どんなヒット商品が生まれるのか、リオデジャネイロ五輪で日本はどれだけメダルを獲得できるのか——。政治、経済、芸能、トレンド、スポーツの5テーマについて、専門家の対談で大胆に予測します。

特集面 地球温暖化対策の歴史的合意「パリ協定」意義と課題は？

京都議定書から18年ぶりに地球温暖化対策の新しい国際枠組み「パリ協定」が国連気候変動枠組み条約第21回締約国会議(COP21)で採択されました。世界が協力して石油や石炭などの化石燃料に依存しない社会を目指すことに合意し、歴史的な一歩を踏み出しました。この枠組みは2020年にスタートしますが、きちんと動き出すまでにはまだ課題が残っています。政府代表や交渉を見守ってきた研究者、若者らにパリ協定の意義と課題を聞きました。これから日本がどう取り組んでいくかを考える材料になる特集です。

次週「来週の売り物記事」は休みます